

憲法9条を守り、生かしましょう！

日本国憲法前文には、戦後日本があたらしい歩みをはじめた決意がよく表れています。文部省が発行した「新しい憲法の話」の中で次のような言葉があります。

「決して心ぼそく思うことはありません。日本は正しいことを、ほかの国よりさきに行ったのです。世の中に、正しいことぐらい強いものはありません。」

この言葉を今こそ生かしたいですね。



日本国憲法 九条

- 1 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。
- 2 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

口語訳憲法前文 (碓井真史さん 新潟青陵大学大学院教授 (社会心理学) のHP から)

私たちはもう戦争をしません。日本の主人公は、私たちです。私たちみんなで日本の舵取り(かじとり)をします。日本の行き先を決めるのは、私たち自身であり、この憲法(けんぽう)を作りました。(中略)

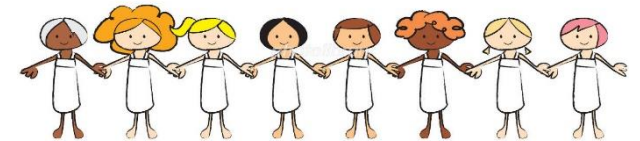
日本の私たちは、平和がずっと続くことを心から願っています。みんなで理想をしっかり持つことは、とても大切です。どの国の人だって、平和が好きなのはです。正しいことをしようと思っているはずで。世界中の人が、本当は仲良くなりたいと願っていることを、私たちは信じます。私たちは、世界の人を信じることを通して、日本のみんなの安全と生活と命を守っていこうと、心に決めました。

私たちは、平和を守り続けます。だれかがいばって、だれかを支配することはだめです。だれかを抑え(おさえ)つけたり、自分だけの狭い(せまい)考え方にとられるのはだめです。世界のみんなも、そんなだめで悪いことをなくそうとがんばっています。そのがんばっている世界の人々から、日本も認めてもらえる国になりたいと思っています。(中略)

日本の私たちは、日本の名にかけて、全力をあげ、この理想を進めていくと、誓います。

自民党の改憲草案では9条に3項を設け自衛隊を書き込むとしています。法律では後から加えた項目が優先されるので1・2項は空文化し、「日本の存立を守るために」海外にまで自衛隊が派遣され、交戦が可能になってしまいます。

WE LOVE PEACE!!



軍拡で平和は守れない！ 憲法9条を生かした平和外交こそ！



「防衛」に名を借りた

増税・国民負担増を許さない！

岸田内閣は「日本の安全を守るため」、5年間で軍事費を1・5倍43兆円に引き上げようとしています。単なる他国への「脅し」のため、実際に使えば大勢の人を殺すための道具を買うために、福祉を切り捨て、大切な税金を使うなんてもってのほかです。まったくの無駄遣いです。税金は軍拡ではなく、国民生活充実のために使うべきものです。



日本が外国に攻められたらどうするの？

防衛力増強という名の下で軍事力を高めることは、逆に他国との緊張を高めるだけです。軍隊を持っていても戦争を止めることができません。憲法9条を生かして平和外交に徹することこそ日本が他国からの信頼を得、世界平和を築く、最高の戦争抑止力です。

軍事ブロックで脅しあうのではなく、東南アジア諸国連合(ASEAN)のような地域のすべての国を包括する平和の枠組みを発展させることが大切です。



日米安保条約が日本を守るなんて嘘

日本には沖縄をはじめ、多数の米軍基地があります。他国で有事があった場合の前線基地となり、必然的に米軍基地や米軍に味方する自衛隊基地は攻撃対象となります。日米安保条約によって、アメリカが起こした戦争に日本は巻き込まれてしまうのです。

岸田政権は「自分の国は自分で守るため」防衛予算を倍増すると言っていますが、米軍の肩代わりをして戦争をするための予算にほかなりません。

「敵基地攻撃」は本格的な戦争につながるだけ

仮に「敵基地攻撃能力」を使って相手のミサイル攻撃を防いだとしても、それで戦争は終わりますか？その後本格的な戦争が始まるだけです！自民党元幹事長古賀誠氏や元総裁河野洋平氏も「敵基地攻撃能力保有は専守防衛を逸脱」「ありえない。」と発言しています。経済援助など平和外交に力を入れることの方が大切です。